

今回の交流体験実習は、本校
が誇る演劇部23名が7月20日に
県立幼稚園の体育館ステージで、園児達に演劇を披露した。

発行：新潟北高等学校

23072923



演劇部は部に昇格して日も浅いが、ここ数年、顧問の熱心な指導を受け、部員も増え活動の幅を広げてきた。その演劇部に幼稚園から公演のお願いを頂いた。お聞きするに、園児達は幼稚園で生の演劇を見るのは初めてとのことである。

顧問をとおして、公演のお願いを伝えてみたものの、心配症の私は夜の寝付きが悪く・・・というのは全くの嘘(^_^)v。演劇部の生徒達が選んだお話は「白雪姫」と「桃太郎」の二つ。園児達に分かりやすく、楽しんでもらえるように場面やせりふ、動作を工夫した。衣装や小道具を手作りして、見応えある演劇に仕上げていた。改めて「北高生！ここにあり！」という感を持ったのは私だけではあるまい。

また、当日は上演後に、部員全員がステージに整列し、複数の園児たちから直接、演劇を見ての感想を発表してもらった。園児達からは、「楽しかった」、「おもしろかった」・・・といった評価する感想を頂き、部員たちに安堵の表情が見られた。今回の公演を精一杯やりきった部員たちに、惜しめない感謝の気持ちと、お礼の拍手が送られていた。

交流体験実習～H23.7.20〈演劇〉



公演を終えて、出演者全員が園児の前で挨拶

演劇部が県立幼稚園児の前で公演

この公演が行われた7月20日は、格別暑い一日だった。ホール窓を全て開け放ち、扇風機を4～5台持ち込み風を送る。暑い・・・園児たちも汗をぬぐう。

午前10時、副園長先生の進行のもと、部長の挨拶、続いて開演……。園児たちの期待はいよいよ高まる。ざわめきが一瞬静まりかえった。



<白雪姫>

白雪姫といえば、園児もよく知っているお話だ。白雪姫の美しさに嫉妬したお妃の罠に掛かり、毒リンゴを食べた白雪姫は倒れる。白雪姫が死んだことで7人の小人たちは悲しみに暮れる。・・・そこに偶然通りかかった他国の王子が白雪姫を見初める。王子様のキスで、白雪姫は元気な姿を取り戻す・・・よく知っているハッピーエンドの結末に園児たちもほっとした様子であった。



<桃太郎>

桃太郎も園児たちが大好きなお話の一つだ。桃から生まれた桃太郎は、健やかに成長し、立派な若者となる。桃太郎は人々を苦しめる悪い鬼を懲らしめようと決心し、おじいさん、おばあさんから吉備団子を作ってもら



い鬼退治の旅に出る。途中、イヌ、サル、キジを家来に連れ、いざ、鬼が島へ……。対決する場面では、園児たちは手に汗握る……。意外なことに、ほし組さん（年長組）の担任が、鬼につれられ人質として登場。「あっ、〇〇先生だ！」園児たちはびっくり、担任を助けた桃太郎に拍手喝采。園児たちの気持ちを見事に掴んだ瞬間であった。

白雪姫、桃太郎とも約15分の演劇。園児たちに的を絞った、単純で分かりやすい演出と熱演に、部員たちの工夫と舞台にかける思いを改めて感じさせられた公演であった。



公演後の感想発表。盛んに手が上がる

この広報は、新潟北高等学校ホームページ

http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。